

社内の挨拶応用例

1 挨拶言葉

- ここまでで基本の挨拶は学びました。ここではちょっと応用編です。気配りのこもった挨拶言葉を覚えておきましょう。



会話例

- 退社するとき、まわりに残業している人がいた場合
新田「わたくしにできることがありましたら、何かお手伝いしましょうか？」
- 上司・先輩から声をかけられたとき
先輩「どう、仕事には慣れたかな？」
新田「はい、おかげさまで慣れてまいりました」
- エレベーターで社員と乗り合わせて
新田「何階でしょうか？」「(先に降りる場合)お先に失礼します」
- 洗面所で清掃の人と会ったときは
新田「おはようございます、いつもお世話になります」

覚えておきたい言葉

- 何かお手伝いしましょうか？
自分が帰るときに仕事をしている人がいたら、退社の挨拶の前に、こう声をかけてみましょう。

基本挨拶＋気配りが大切

あらゆる場面でおこなわれる挨拶は、基本の挨拶言葉にプラスαの応用力が必要です。

退社の挨拶は「お先に失礼します」ですが、まわりでまだ忙しく仕事をしている人がいるときには、「お先に失礼してよろしいでしょうか？」と少し言い方を変えましょう。また、「何かお手伝いしましょうか？」「何かできることはありませんか？」などの言葉は、まわりへの気配りの気持ちが伝わります。

新入社員や転属してきた場合には、上司や先輩から「どう、慣れたかな？」と聞かれることがあります。「だいたい慣れました」などではなく、まわりの人に教えていただいている感謝の言葉を添えて「おかげさまで慣れてまいりました」と謙虚な表現を使いましょう。

また、社内には、清掃の人や守衛さん、社員食堂や売店の人たちなど、社員以外にも毎日顔を合わせる人が大勢います。気持ち良く仕事ができるようにお世話になっている方々です。挨拶をしない、または、ぞんざいな挨拶では人間性を疑われます。感謝の気持ちをこめた挨拶をできるようにしましょう。



清掃の方への気遣い 「お世話になります。清掃中なのですが、今使わせていただけますか？」。トイレが1カ所しかない場合や、急いでいるときに清掃中だと困ってしまいます。しかし、清掃中ですから配慮が必要です。「いつもお世話になります」と挨拶をして、「今、使わせていただけますか？」と丁寧な言葉遣いで一言お願いやお断りの言葉を添えましょう。これは、社内だけではなく、どこのトイレでも同様で清掃の方への気遣いのマナーです。

● あなたの部署に新入社員や転属の社員が入ってきた場合は、「どう、慣れましたか？ 何でも聞いてくださいね」と心遣いを忘れずに。